

VOICE

活躍する卒業生 3

福井県民生活協同組合
坂井きらめき・デイサービス
介護スタッフ

佐藤 裕平

YUHEI SATO

仁愛大学コミュニケーション学科
現代社会系2011年度卒
(丸岡高校出身)

優れた対話力は、
世代も、考え方も、
超えていく。

「笑顔を返してもらえるだけで、うれしい」。

決して楽ではない高齢者介護と
施設でのレクリエーションに、楽しく取り組む日々。
振り返るのは、大学時代のゼミで参加した「村おこし」。

2009年度、福井市が公募した協働による
「学生発 地域のまちづくり企画提案事業」(稗地区)に採択され、

初代プロジェクトリーダーとして乗り込んだ。

地域に入り込んで協働しながら課題を発見していき、
世代を超えたコミュニケーションを成り立たせた。

今の目標は、3年後の介護福祉士の資格取得。

大学時代に培ったコミュニケーション力が、
目指す明日を、やわらかく、たぐりよせていく。



ACTION
COM!

未来のコミュニケーター

社会が求める、
明日のジブンへ

Vol.3 現代社会系

地域でのフィールドワーク



コミュニケーション学科4年
田中 凌子
(高志高校出身)



社会調査で学んだコミュニケーションの手法は、人と関わるあらゆる場所で生きる。

フィールドワークの対象地域は、少子高齢化が進む福井市殿下地区。地域からの要請を受け、神事「武周神楽(ぶしゅうかぐら)」の継承者が途絶えかかっているという課題の解決を試みました。ただ、当初は表層的な提案ばかりを行い、良い提案ができずにいたのです。それが大きく変わったのは、実際の神楽の風景を目の当たりにしてからでした。本質的な問題解決に向けた提案を出せるようになりました。この時に必要だったのは、社会調査に関わる講義や演習で学

んだデータ解析方法だけではなく、生の情報に深く触れていく質的調査が持つリアリティでした。多様な情報が簡単に入手できるインターネットに慣れている現代だからこそ、現地に赴き、現場をみて、人々の声に耳を傾ける、これらの重要性を目の当たりにしたフィールドワークとなりました。その後、私は、金融機関への就職が決まりましたが、フィールドワークで得た、コミュニケーションの基本的なあり方への考え方は、就職活動でも大きく評価してもらうことができました。

私が2013年～2014年に行った、協働型社会調査(action reserach)の写真です。上の集合写真は、福井市裏地区の方々とともに撮ったものです。他の4枚は、2014年7月、福井市殿下地区との共同研究の一環として、福島の子供たちを招いたサマーキャンプの際、地域の若者たちと殿下の子どもたちと一緒に、キャンドルアートを作り上げた時のものです。(このキャンドルアート実施にあたっては、2011年に先輩たちが裏地区の方々と一緒にやったキャンドルアートがモデルになりました。)

コミュニケーション学科で取得可能な
免許&資格

- 中学校教諭一種免許状(英語)
 - 高等学校教諭一種免許状(英語)
 - 社会調査士 ● 社会福祉主事
- ※TOEIC受験も支援します。

データで見る、コミュニケーション力

非常に広い職業の選択幅。
これが、コミュニケーション学科の特長であり強みです。

- 金融・保険：野村證券、三井住友銀行*、福井銀行、北陸銀行、日本生命など
情報・通信：FBC福井放送、福井テレビジョン、福井新聞社、日刊県民福井など
建設業：積水ハウス、石黒建設、タキナミ、永森建設、永和住宅など
製造業：福井村田製作所、フクビ化学工業、日華化学、前田工織*、レンゴーなど
卸売・小売業：江守商事、青山商事、県民生協、福井トヨペット、福井ゼロックスなど
宿泊・飲食サービス業：HIS、サバエ・シティホテル、芳泉グループ など
医療・福祉：福井赤十字病院、福井循環器病院、福井予防医学協会、BMLなど
教育・学習支援：福井仁愛学園、あけぼの学園、金井学園など
サービス業：日本郵政グループ、JA(福井県中央会、福井県経済連、福井市) など
公務員：中学校教員(越前市)、警察官(福井県、大阪府、京都府)、防衛省自衛官、法務省法務教官、市役所(福井市、越前市、坂井市、小浜市、敦賀市) など ※本年度内定

コミュニケーション学科の
多様な進路(就職先の例)

好調な就職状況

